MITSUBISHI

9504R588HC6003

三菱ダクト用換気扇〈プラスチックボディタイプ〉

浴室・トイレ・洗面所用（二部屋用）

取付説明書　販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ず、この取付説明書をお読みください。

取付工事はお買い求めの販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

■この製品にはシステム部材のコントロールスイッチ、または市販の埋込スイッチが必要です。

■接続ダクトは右表の寸法の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

1. 安全のために必ず守ること

●取付けの前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全に取付けてください。

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。

●表示と図記号の意味は、次のとおりになっています。

⚠警告	誤った取扱をしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

⃠	禁　止	⃠	分解禁止
❗	指示に従い必ず行う	⏚	アース線接続

⚠警告

⃠ ●内釜式風呂を据付けた浴室では使用しないでください。
（排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります）

⃠ ●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。（火災・感電・けがの原因となります）
修理はお買上げの販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。

⏚ ●アースの必要な場合はアースを確実に取付けてください。
（故障や漏電のときに感電することがあります）

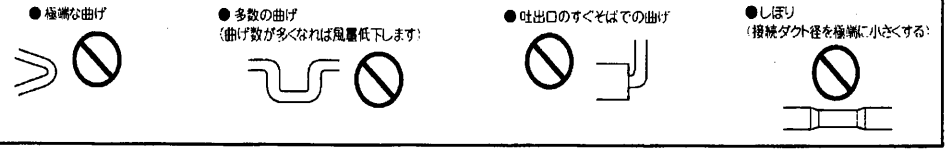
⚠注意

⃠ ●交流100V以外では使用しないでください。
（火災や感電の原因になります）
●浴室内に壁スイッチを設けないでください。
（感電の恐れがあります）
●直接炎のあたる場所や油煙・有機溶剤のある場所には金属製以外の換気扇を使用しないでください。
（火災の恐れがあります）

❗ ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。
（落下によりけがをすることがあります）
●部品の取付けは確実に行ってください。
（落下によりけがをする恐れがあります）
●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。
（接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります）

お願い

●高温（40℃以上）になるところに取付けないでください。
（高温では、温度ヒューズが溶断して使えなくなります）
●取付け時、手袋の着用をおすすめします。
（板金部品でけがをすることがあります）
●浴室と他の部屋で使用する場合は本体を必ず浴室に取付けてください。
●浴室など湿気の多い場所では、グリルから水滴が落ちても不快にならない場所に取付けてください。
●排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。
●排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ（システム部材）または、雨水などの浸入を防ぐための深形フード（システム部材）などを取付けてください。
●天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
●効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
●次のようなダクト工事はしないでください。
（風量低下や異常音発生の原因になります）

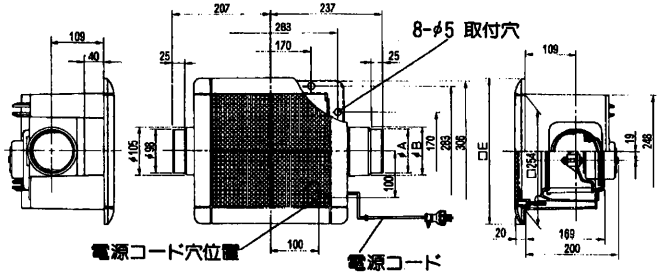


規　制

●共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割を果すものを使用しなくてはならないよう義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。
●プラスチックボディ及びダクト用システム部材については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

2. 外形寸法図

※図はVD-15ZFPC$_2$を示します。
ZFC$_2$タイプには電源プラグはありません。



※VD-15ZFPC$_2$は4芯3極接地形(ビニルキャブタイヤケーブル有効長3.0m)
VD-15ZFPCL$_2$は3芯2極接地形(ビニルキャブタイヤコード有効長3.0m)
の電源プラグ付きです。

単位(mm)

形　名	A	B	C	D	E	接続ダクト径
VD-13ZFC$_2$,15ZFC$_2$	98	105	109	15	330	φ100
VD-15ZFPC$_2$,ZFPCL$_2$	98	105	109	15	330	φ100
VD-17ZFC$_2$	144	152	125	40	330	φ150

※VD-17ZFC$_2$の副吸込口側の接続ダクト径はφ100mmです。

形　名

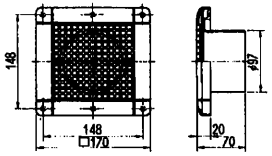
VD-13ZFC$_2$
VD-15ZFC$_2$
VD-15ZFPC$_2$
VD-15ZFPCL$_2$
VD-17ZFC$_2$

付属部品

木ネジ……10本
(ステンレス製・本体固定用)
木ネジ……4本
(副吸込口グリル固定用)

副吸込口グリル……1個

■副吸込口グリル(同梱品)



3. システム部材

(形名など詳細についてはカタログを参照してください。)

天吊金具、天吊脱着枠、防火ダンパー、煙逆流防止ダンパー、ベントキャップ、丸形フード
深形フード、パイプ接続部材、ジャバラ、コントロールスイッチ

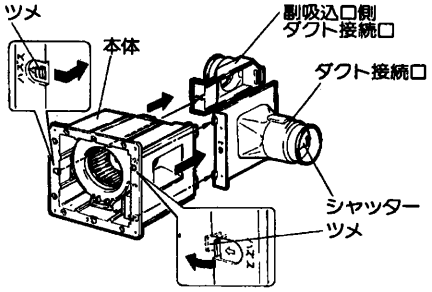
4. 取付方法

〈本体の図はVD-15ZFC$_2$を示します〉

1 取付位置・排気方向・副吸込口方向・壁排気穴位置を決め取付け前の準備をします。

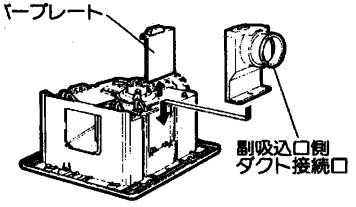
(1) ダクト接続口、副吸込口側ダクト接続口を取外します。
- ダクト接続口は本体内側のツメを矢印の方向に押えながら図のように取外します。
- 副吸込口側ダクト接続口は、本体フランジ部の突起部を矢印の方向に押えながら図のように取外します。

シャッターはテープで固定して出荷されます。
必ずテープをはがして取付けてください。



(2) 副吸込口は3方向選択ができます。使用する副吸込口を決めます。

(3) カバープレートが取付いている場合は、上に引きぬいて副吸込口側ダクト接続口と交換して取付けます。



2 換気扇本体を取付けます。

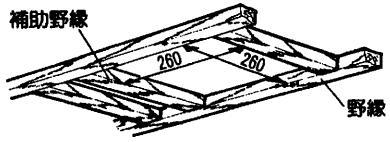
■本体の取付けは野縁に固定する方法とシステム部材の天吊金具、または天吊脱着枠を使用して固定する方法があります。

野縁に取付ける場合

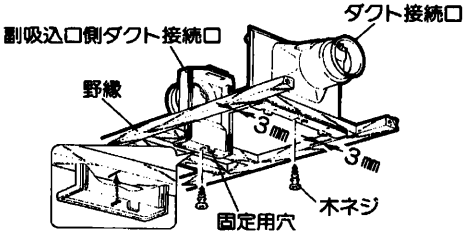
野縁の強度が十分でない場合は天吊金具を使用して取付ける場合の取付方法と併用してください。

(1) 内寸が下図の寸法となるように天井の野縁と補助野縁で取付枠を組んでください。
なお野縁は40mm以下のものを使用してください。ダクト接続口が取付かない場合があります。

単位(mm)

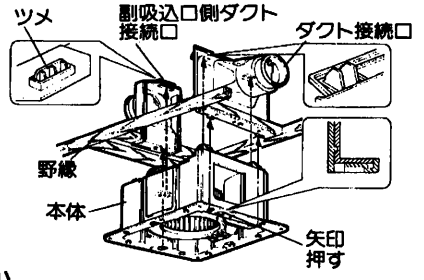


(2) ダクト接続口、副吸込口側ダクト接続口のフランジ部を野縁に密着させて付属の木ネジ各1本で仮固定します。
- ダクト接続口側は両サイドに3mmほどのすき間があきます。
- 副吸込口側ダクト接続口は、固定用穴を野縁の中心に合わせます。

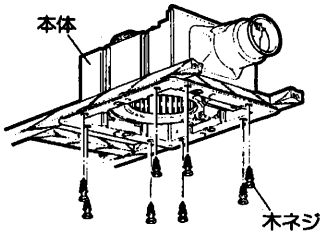


仮固定とするのは固定用穴(長穴)部分で移動できるためです。本体が取付け易くなります。

(3) 副吸込口側を確認しながら、本体を野縁に差込みます。
- ダクト接続口とのはめ込みは、本体上部のツメをダクト接続口の角穴に、下部はダクト接続口の角穴を本体下部の突起部にはめ込みます。副吸込口側ダクト接続口の下部突起部を本体下部の角穴にはめ込みます。
- 本体フランジ部にある矢印付近を押すと「パチン」と音がしてはめ込まれます。



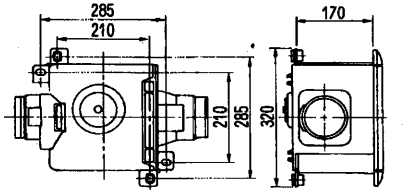
(4) 付属の木ネジ(8本)で本体をすき間のないようしっかりと固定してください。(すき間がありますと風漏れの原因になります。)



天吊金具を使用する場合

システム部材の取付説明書を参照してください。

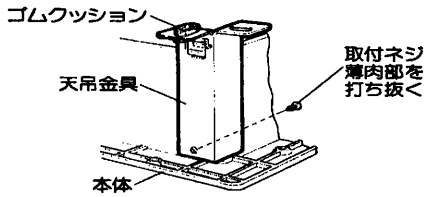
(1) 右図を参照して吊りボルト(M8)を埋込みます。



単位(mm)

4. 取付方法 つづき

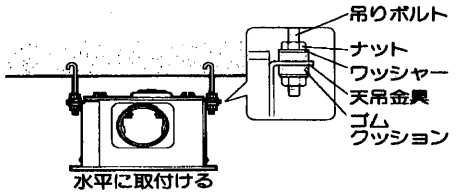
(2) システム部材の天吊金具(P-06TK)を本体に取付けます。
■下図のように天吊金具のツメを本体に引掛け、取付ネジで固定します。



お願い

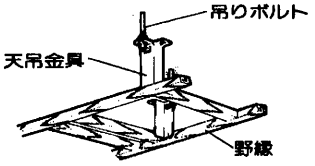
- **必ずダクト接続口を先に本体に取付けてから天吊金具を取付けてください。先に天吊金具を本体に取付けますとダクト接続口が取付きません。**

(3) 本体が水平になるよう、天吊金具を吊りボルトに取付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定します。

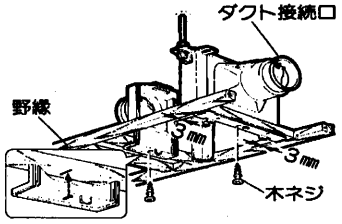


野縁が組まれている場合の取付けかた

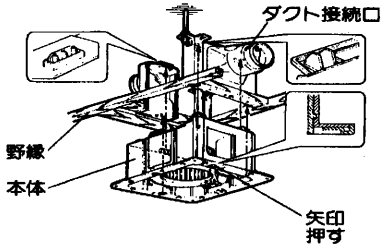
(1) あらかじめ埋込まれている吊りボルトにシステム部材の天吊金具を仮固定します。



(2) 野縁に取付ける場合と同様にダクト接続口を野縁の中心に密着させて付属の木ネジで仮固定します。



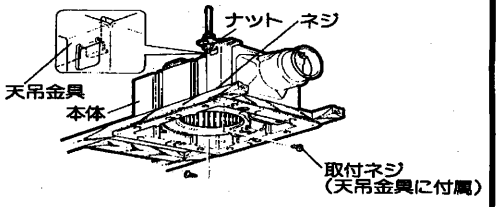
(3) 野縁に取付ける場合と同様に本体をダクト接続口に密着するよう野縁に差込みます。
- 本体フランジ部の矢印付近を押すと「パチン」と音がしてはめ込まれます。



(4) 天吊金具を本体に引掛け天吊金具に付属の取付ネジで固定します。

(5) 本体が水平になるよう調節し、天吊金具を止めているナットを確実に締付けます。

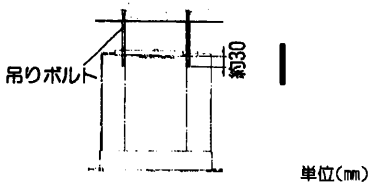
(6) 付属の木ネジで本体をすき間のないよう野縁に固定します。(すき間がありますと風漏れの原因になります。)



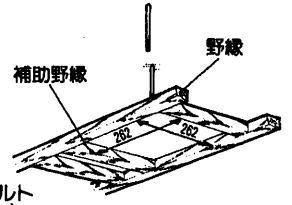
天吊脱着枠を使用する場合

システム部材の取付説明書を参照してください。

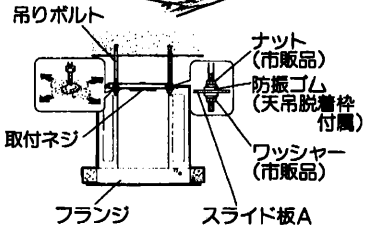
(1) システム部材の取付説明書を参照して天吊脱着枠を組み立て、吊りボルトを埋込みます。



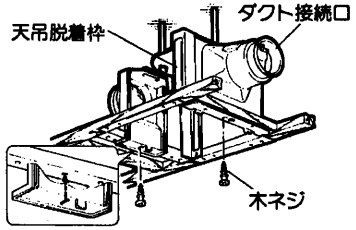
(2) 内寸が右図の寸法となるように天井の野縁と補助野縁で取付枠を組んでください。なお野縁は40mm以下のものを使用してください。



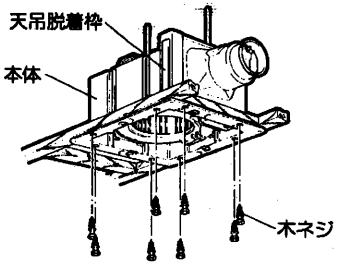
(3) 排気方向及びモーターの位置に注意して、図のように天吊脱着枠のフランジを野縁に当て、吊りボルトに吊します。



(4) 本体よりダクト接続口(排気側・副吸込口側)を外し、ダクト接続口を付属の木ネジ(各1本)で野縁の中心に仮固定します。

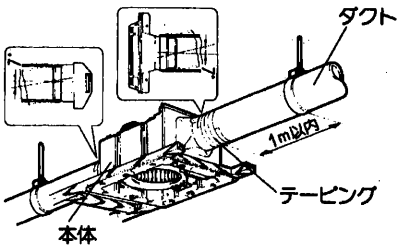


(5) 本体をダクト接続口及び天吊脱着枠に密着させて野縁に差込み、付属の木ネジ8本ですき間のないよう固定します。(すき間がありますと風漏れの原因になります。)



3 本体から壁排気穴と副吸込口側ダクト接続口へダクト接続してください。

(1) ダクトをダクト接続口にしっかり差込んで風漏れのないようテーピング(市販品)してください。
- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向7°)



お願い

- **ダクト接続を市販のネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないよう注意してください。**

(2) ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊してください。

4 電気工事を行います。(VD-13ZFC$_2$,15ZFC$_2$,17ZFC$_2$の場合)

- 専門の電気工事店へ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

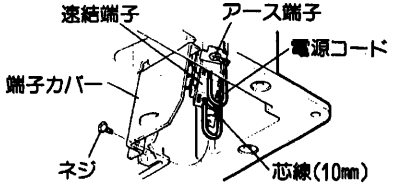
(1) 端子カバーのネジ1本を外して端子カバーを開けます。

(2) 本体上部のゴムブッシュより屋内配線(VVFケーブルφ1.6φ2)を通します。

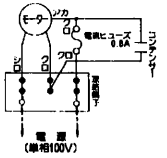
(3) 端子カバーに示すゲージを使用して皮ムキした芯線を速結端子に確実に奥まで差込みます。

(4) 浴室など湿気の多いところで使用する場合は、アース端子を使用して必ず接地工事(アース)を行ってください。

(5) 端子カバーを元通り取付けます。

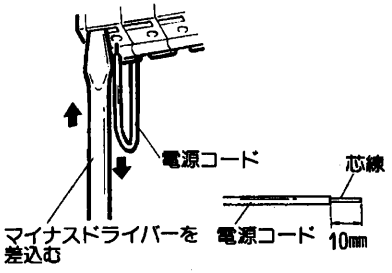


■結線図 破線部分を結線してください。



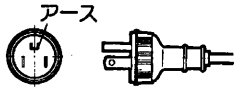
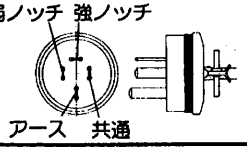
お願い

- **より線を結線する場合は、棒状圧着端子(松下電工製WV2500)をより線に取付けてから速結端子に確実に差込んでください。**
- **電線被ふくは10mmむいてください。カバーにあるストリップゲージに合わせて、皮むきしますと便利です。**
- **電源コードは、本体付近で約150mmたるませてください。**
- **電源コードを速結端子より外す場合は、マイナスドライバーで速結端子の外しボタン(赤色)を押しながら電源コードを引っぱって外してください。**



5 電源プラグをコンセントに差込んでください。(VD-15ZFPCL$_2$,15ZFPC$_2$の場合)

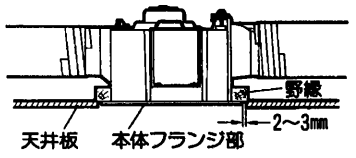
- 電源プラグと同形のコンセントを設け差込みます。

VD-15ZFPCL$_2$の場合	VD-15ZFPC$_2$の場合
 電源コードの先端には、小形接地15Aゴムキャッププラグ(125V)が付いていますので、同形のコンセントを取付けてください。	 電源コードの先端には、3極接地形差込みプラグ(250V)が付いていますので同形コンセントを取付けてください。

6 天井板を張ってください。

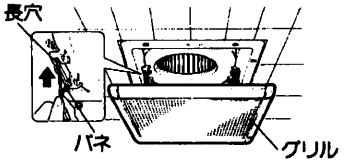
お願い

- **本体のフランジ部分と天井板とは必ず2～3mmのすき間をあけてください。**



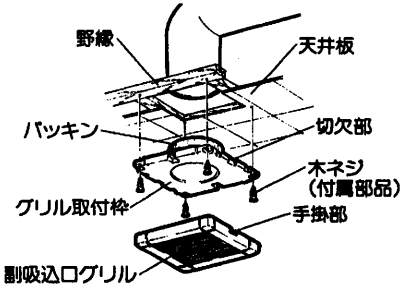
7 グリルを取付けます。

- グリルには、2つのバネが付いていますので両手でバネをつかみ長穴に差込み、手を放し軽くグリルを押し上げ天井に密着させます。



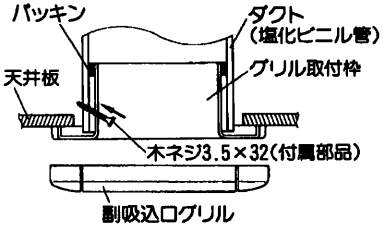
8 副吸込口グリルを取付けます。

1. 内寸120mm角となるように野縁を組みます。
2. 副吸込口グリルとグリル取付枠に分けます。
   - 塩化ビニル管・鋼板管に差込む場合は、市販のパッキンを巻付け差込みます。フレキシブルダクトに差込む場合は必ずテーピングしてください。(風漏れ防止)
3. 付属の木ネジ(4本)でグリル取付枠を天井板に固定します。(タイルの目地に合わせて取付ける場合、中央のネジ2本で固定します。)
4. 副吸込口グリルの手掛部とグリル取付枠の切欠部を合わせて上に押し上げ取付けます。



副吸込口グリルを直接ダクト(塩化ビニル管のみ)に固定する方法

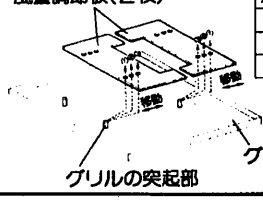
1. グリル取付枠に市販のパッキンを巻き付けダクトに差込みます。
2. 天井板とのすき間がないことを確認して、付属の木ネジを薄肉部より斜めに押し上げ貫通させて固定します。
   (薄肉部…グリル取付枠の内側に2か所あります。)
3. 副吸込口グリルを取付けます。



本体側と副吸込口側の風量調節ができます。

- 本体グリルの風量調節板は、工場出荷時、本体風量:副吸込口風量を①約2:1にセットしてありますが風量調節板を移動することによって②約2.5:1、③約3:1まで変えることができます。
- 風量調節板を取外してしまいますと副吸込口側が吸込まなくなります。

風量調節板(2枚)



穴位置	本体風量:副吸込風量
①	約2:1(工場出荷時)
②	約2.5:1
③	約3:1

5. 試運転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実で振動・異常音がないかを確認してください。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111